

UO のクライアント

UO をプレイするためには、クライアントソフトをコンピュータにインストールする必要があります。これが無いことには始まりませんから、まずはその入手方法などを御紹介しておきましょう。

クライアントの入手

UO クライアントは、店頭でもパッケージの形で購入できます。どんなパッケージがあるのかは、こちらから調べられます。ただ、最近は無料ダウンロードも可能になりました。クライアントのダウンロードはこちらのページから可能です。

パッケージには、クライアントソフトだけでなく、(最低でも)30日分の課金が可能なコードや、その時のパッケージによって異なる何らかの特典(アイテムプレゼントなど)があり、購入する最大の目的はその特典ということになりそうです。

単純にプレイするだけなら、ダウンロードした方がお金はかかりません。また、今後はダウンロードが基本で、パッケージの形での販売はあまりしない雰囲気でもあります。「～周年記念」といった特別なパッケージは出るでしょうけどね。

手始めにUOには2つのクライアントがあるということを覚えてください。

一つは伝統的な「2Dクライアント」で、もう一つは最近開発が進められてきた「UO:KRクライアント」です。この2つの特徴をザックリ比較すると以下ようになります。

特徴	2Dクライアント	<u>UO:KR</u> クライアント
PC環境	数年前のPCでもOK	GeForce3以上のGPU推奨
長所	とにかく軽い	グラフィック強化と便利な新UI
短所	見た目が貧弱	今だ不具合・未実装機能あり

2Dクライアントはとにかく軽いのですが、10年ものの古いソフトであることも事実であり、そのグラフィック的な貧弱さは以前から他のゲームと比較されて欠点といわれていました。・・・もっとも、それが軽さを産んでおり、また決して悪いグラフィックというわけではないので、上の表では「見た目が貧弱」と書いたものの、私自身はそれをあまり欠点と思ったことはありません。

美しい見た目と求められるPC性能の低さは、必ずトレードオフされるものです。2DクライアントはUOが始って以来、ずっと使われてきたもので、それゆえに数年前のPCでも問題なく動くというのは大きなアドバンテージでもあるのです。

とはいえ、そうした見た目についても改善しようという動きは必然的に起きました。そして、2007年にリリースが開始されたのが、新たに作り直されたUO:KRクライアントです。これによりグラフィックは強化されましたが、それに比例して求められるPCスペックも上昇し、特にGPUなし(オンボード)ではかなり重いクライアントとなってしまいました。

その代わり、UI(ユーザーインターフェース)も今風のものに改良されています。特に生産職PCには嬉しい改善が多いですし、特長とも言うべきホットバーは一度使い出すと、ずいぶん便利に出来ていることが分かります。2Dクライアントに慣れた人は、なかなか移行しづらいですが、バグや問題はだいぶ解決されているので、新規にプレイするならUO:KRクライアントでも問題は無いぐらいになっています。

私自身も、この Wiki も 2D クライアントでの説明が基本になっています。UO:KR クライアントで大幅に違う点については、折に触れて加筆をしていますが、まだまだ 2D クライアント中心の記述になっているので、その点は御了承下さい。

次期拡張「ステイジアン アビイス (UO:SA)」は当初のアナウンスでは「UO:KR クライアントのみの対応」ということになってはいますが、今のところ何とも言えません。現状を考えると、かつてのイルシェナーと同様、2D クライアントでも最終的にはプレイ可能になるのではないかという気はします。

ちなみに、UO:KR クライアント 2D クライアントの順番なら、一つの PC 上で同時に動かさず（逆は不可）。複数アカウントを持っていて、同時に異なるキャラクターを動かしたいときは、これを知っていると便利かもしれませんね。

今は亡き 3D クライアント

UO:KR クライアントが動き出す以前は「3D クライアント」というのがありました。

これは背景などは 2D のままで、プレイヤーやクリーチャーは 3D ポリゴンで描くという形式を取っていました。かつてはクライアントを起動するときに「2D クライアント」か「3D クライアント」かを選べるようになっていました。

これはこれで使いやすい UI が幾つかあったのですが、このプレイヤーの 3D ポリゴンの出来があまりに悪く、しかも動作が重かったため、あまり使われていませんでした。ただし、オフィシャルでは 3D の方が優先されていたため、公式ガイドブックなどの画面写真は 3D クライアントのものが使われていたりします。

重い上に、あまりにグラフィック面で不評だったためか、3D クライアントは UO:KR クライアントの登場と共に姿を消しました。ただ、3D クライアントで使われていた幾つかの UI (オブジェクトハンドラ・ペーパードールのアクセサリ等のボックス・買い物時の商品 SHIFT + ダブルクリックで全買い) は、2D クライアントに導入され、これはおおむね好評でした。

かつては 2D クライアントを立ち上げて、最初のパッチ画面の後に「2D クライアント」か「3D クライアント」かを選択するようになっていました（さらに過去に遡ると、この 2 つのクライアントは別々の実行用ファイルに分かれていました）。

今は「3D クライアント」は全く別物の「UO:KR クライアント」に取って代わられ起動すら出来なくなっており、この選択画面も出なくなりました。

アカウント作成

公式ページとは順序が逆になりますが、実際にクライアントがインストールできて、実際にログインするためにはアカウント作成をしなければなりません。UO の場合、7 日間のトライアルが可能になっています。さらに課金することを約束できるなら、21 日間の無料プレイも可能なようです。

アカウントの作成はこちらのページで可能です。

上のページでメールアドレスを入力すると、無料でプレイするためのレジストレーションコードが送られてきます。まともにパッケージを買っていた場合は、30 日間プレイ可能なレジストレーションコードが入っているはずなので、さらにコードを入手する必要はありません。

・・なお、リニューアルされたトライアルの説明サイトには、容姿端麗な男女のキャラクターイラストが出ていますが・・・ゲーム画面でこういうグラフィックはありませんので悪しからず。KR クライアントに関して言うなら、以前に比べて相当マシになりましたけどね(笑)。

で、レジストレーションコードを確認したら、アカウント管理サイト (<http://ultima-registration.com/>)に行って、実際に登録します。その方法は、ここで長々と書くより、上記のアカウント作成のページにて丁寧に説明されているので、そちらを御覧ください。

というか、公式ページ、随分親切になりましたねえ。

7日間無料のアカウントとはいえ、7日間過ぎた後でもアカウント自体は残っていますから、そのアカウントで課金をすれば、続きをプレイ可能です。「イマイチだな」と思った場合は、残念ですがそのまま放置するなり、クライアントをアンインストールするなりして問題ありません。

7日間でどれだけのことが分かるかは、正直何とも言えないのですが、初心者向けのクエストなどで色々スキルなどは教えてもらえるようになってはいますので、UOの雰囲気はそれなりに分かるかなと思います。・・あとは、せっかくのネットゲですから周囲のプレイヤーさんに話し掛けて分からないことを聞いてみるのが、一番のお勧めです。

自分のことを思い起こすと、なるほどプレイし始めた1週間はサルのようにプレイしていました。それこそ昼も夜も関係なくね・・・(笑)。

いずれにしても、何らかのアカウントを作成し、クライアントのインストールも完了したら、いよいよゲーム開始・・・のはずですね。その辺は「初めてのログイン」の方で説明していますので、続けて御覧ください。

課金について

UOも商売である以上、継続してプレイするためにはお金を払う必要があります。そのプレイ料金は、平たく書くと以下の通りです。

プレイ日数	対応する料金
30日間	1,554円
90日間	4,179円
180日間	7,329円

まとめて払ったほうがお徳になっています。いずれにしても、この料金を支払えば、基本的なプレイは全て可能です。しかも全シャードに5人までキャラクターを作成可能という、他のゲームでは類を見ない太っ腹さです。

その他、リアルマネーで利用できるサービスは存在しますが、必須というものは無く、基本の料金を払うだけで、UOは問題なく満喫できます。「基本料無料+有料サービス」というシステムのゲームとは完全に異なりますので御安心ください。リアルマネーでどんなサービス等があるのかは、UOストアの方を見れば分かります。

支払い方法はクレジットカードのほか、ゲームタイムというプリペイド形式もあります。ゲームタイムは「30」「90」「180」とあり、普通にPCショップのゲームコーナーや、特定のコンビニ、それにAmazonなどでも購入可能です。ゲームタイムにはコードが書かれているので、これをアカウント管理サイトで入力することでその日数分の課金が行われるようになっています。クレ

ジットカードを使わない場合は、この方法になります。

パッケージを購入している場合、その中に同梱されたコードを入力することで主に 30 日分の課金ができます (パッケージによっては、もっと長い期間のものもあります)。パッケージを買うことの利点の一つといえるでしょうね。どんなパッケージがあるのかは、こちらから調べられます。

また、上記の料金表も変更されないとは限りませんので、最終的には課金に関する公式ページの情報を御確認の上、是非ブリタニアにお越しく下さい。
